

波紋

No.212

平成15年 February 2月

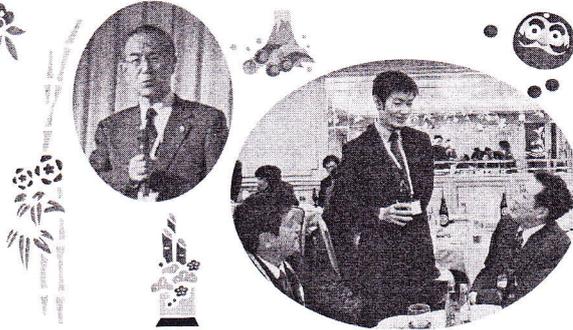
PUBLISHER: 森松株式会社
EDITOR: 梅田文康



元氣のでる信念会

2003年1月6日の名古屋は雪で始まりました。仕事始めの日が雪というのは私の知る限りでは初めてのこと。そんな中、仕入先30社の皆様にお集まりいただき「元氣のでる信念会」が栄マルベリーホテルにて開催されました。

森会長の「得意先より、開発テーマをいただく事こそが元氣のパロメーターであります。今年は森松の社員はテーマを多く持ち、仕入先の皆様のご協力をどんどん引き出して、元氣のある会社と皆様に言って頂けるように一丸となって頑張ります。」という年頭の挨拶のあと、アキレス(株)の奥部長の乾杯の音頭で始まりました。



恒例となった「書初め」では「考勤」「他人と違うことをやろう」「攻撃は最大の防壁なり」「やれば出来る!」などをはじめ例年以上に多くの言葉が寄せられ、プラス思考でやり抜く皆様の意気込みを感じさせられました。

今回は特別な演出はありませんでしたが、お正月に飲み過ぎた方もみえるだろうと皆様の「血圧測定」をさせていただきました。アルコールが入った血圧測定は皆様初めてのことで、高い数字が出てしまい、ビックリされた人もおみえになったようです。

なごやかな雰囲気のうち閉会の時間となり、森直樹社長の中締め挨拶でお開きとなりました。

牧野 光昌(プロジェクト④)



今年も直ぐにお願ひの申し上げます

森松USA NYでの引越コト

昨年度末に引越しをすることとなり、レンタカーを借り一人での引越しとなりました。まずこちらは、レンタトラック業者なるものがレンタカーとは別個にありまして。一人暮らし分の荷物なら、一番小さいパンで十分足りるでしょう。借りたところはローカルのレンタ業者ですが、100ドル前後レンタ料として払いました。幸い土曜だったため車の量も少なく、慣れないNYの道でも何とか目的地まで着く事が出来ました。今回は共用でバス・トイレを使うので、以前の一人暮らしのように行きません。しかしかえって語学の進歩の助けとなるのではないかと、という考えでした。ですが実は紹介していただいた方はドミニカ共和国からの移民で、英語は問題ないのですが、二人居る同居人の内一人はスペイン語しか話せないという事が引越後判明しました。スペイン語を学ばなければ少し不便だな、と本気で感じる今日この頃です。これもまたNYならではの経験でしょう。

海外からNYへの移民の割合は90年代に入り上昇し、NYの人口の40%を超えるそうです。この数は1910年代以来の高さです。転居先の駅の周りには、タイ、ベトナム、マレーシア、中国、韓国といったアジア料理レストランが集合しており、これまた移民の集まるクイーンズ地区らしい風景です。日本の大都市もこのような国際性に富んだ区域が存在するでしょう。

外国からの移民の方が増加するという事は、それだけ外から見てその国の景気が良いということでしょう。その反面、中では景気対策に苦勞しているのは米国も日本も同じのようです。もはやこれが普通だと認識されつつある今の景気ですが、この現状の中で森松のできることは何かと、時代の変化と同時に、その姿を変化させることができる企業のみが生き残る価値があると考えております。森松も新時代への転換が必要です。



社長 森 直樹

naoki@morimatsu.net

『政治家・マスコミにだまされるな!』

中国「強烈な不満、憤慨」、韓国「昨年より強い批判」と今朝、中日新聞に書いてある。

小泉首相が14日、靖国神社を参拝したことで両国は日本政府に抗議・反発を強めている…またかつ! という感じ。

私達日本人は民族的習慣として死んだら仏様になると信じています。国家民族の為に貢献し命を捨てた国民が祀られている神社を参拝して何の問題があるのか???

戦争を起こしてはならないという思いは、強く日本人の心の中にあり首相が参拝することで国民は思いつくことができます。

日本には、日本固有の習慣・文化があります。歴史の違う隣国から習慣文化をおしつけられても困る!!

わが国は、天皇批判も首相批判も、政策反対も自由で発言・報道・出版ができる国です。近隣の国家とは異なる過程でもって今日の日本がある。自国の政策をおしつけてもらったり、一緒にしてもらっては迷惑なことです。内政干渉はやめてもらいたい。

中国・韓国の政治家は、自国民の関心を国内から海外へ向けさせる事が目的で、日本に抗議・文句・クレームをつけている。かれら政治家の仕事は自国民をだますことだから…。パフォーマンスが多い!! 私でも日本の政治家にだまされていまいか心配になってきた。



私達は政治家にだまされないようにに各国民同士コミュニケーション・友好をより深めていきたいものです。

森 信之

『スキー』

スキー歴13年、K君に滑りをバカにされ、本格的に始めてしまい、シーズンになるとワクワクしてきて、年間20回位は滑りを苦しみ、K君からのアドバイスを聞き、体重移動が悪い、乗っている位置が悪い、顔が悪い、スキー板が悪いと言われる。今ではK君の滑りを越すことは出来ないが、ポール競技でのタイムは楽勝に勝利し、K君はタイムを計る機械が壊れていると言いつつするほどになっている。K君がいたから、私もそれなりにスキーが上手くなり、感謝しているのだが、スキー場への車中での苦しみ、現在も苦しみ同室での睡眠、車中・室内はZOO状態になる。虎・象・ライオンが体調を崩して寝ているかと思うくらいのお○です。(奥様も大変でしょうね)

この2、3年は、上達の限界を感じて、シーズン3回ほどの一泊してのスキーしか行かない状態になってしまっているが、今まで苦しんだ分の成果は、少ない回数での滑りでも、体が覚えていくるので、楽しい滑りが出来る。滑り以外での楽しみに、温泉・景色・名物の食べ物を楽しんでいます。K君、爺さんになってもスキーに行きましょう。部屋は別でね。



光田 昭男 (プロジェクトA)

『還暦』

今年は「還暦」です。10年前までは、60歳定年、そして年金がもらえる…の意識。そして10年過ぎてみると、定年も年金も先送り。それ以上に変わったのは自分の意識、仕事はまだまだやりたいこと多し、やめられませんの思いです。パブルははじけ、社会環境も自分も皆の意識もどんどん変わった10年でしたが、これからまだまだ一人一人が変わらなければ、そして責任を持たなければ、生き残れない時代となっています。どんな責任か? (会議の時に言われた言葉)

1. 業績責任
2. 部下育成責任
3. 報告責任
4. 業務改善責任

人生百年時代の長寿社会を考えれば、還暦なんてまだ半部と少しを過ぎただけ、まだ1からやり直せる歳だと前向きに考え、上記の四つの責任を心に刻んで元気に、まずこの1年を長生きしよう!! ……と思う。

(長生きとは、何歳まで生きたか、ということではない。その一年がどれほどめずらしく、驚きや感ずることの多い年であったかとの考



森 チカ (ユニティー)

え方) 五木 寛之

書き初め〜森松マシの今年の目標〜

【仕事編】

発想
好奇心と執念
情報マインドをもつ
オフセット物件十件
スキルアップ
時間短縮
エクセル全開
人脈
3DCAD習得
まっと売る！
貫徹
帰社時間六時
パート育成 教育は共育なり
初心に蛙 原点に蛙 基本に蛙
非同期
無欲無心
節約
信頼関係は報連相から生まれる



【プライベート編】

子供とクッキング
長男と二人で卒業旅行
気持晴天
バイクで長野へ旅行
血圧百二十
ゴルフ95を切る
笑顔
ビリヤード上達 月2回通
ダイエツト
笑顔
感動創造
スリムなボディ
個人のHP開設
試験に合格する
週1回運動
ウインドミル完投
百米FRR日本新
家族旅行



2003 名古屋輸入車ショー

先日、輸入車ショウに行ってきました。出展国は、ドイツ、アメリカを始めとする十カ国で、輸入車というのは、実に個性的な車が多くスタイリング、インテリア、乗り味も含めて、しつかりとした主張があると思います。

輸入車が特別なものではなくなってきた。日本車との価格差は少なくなっているし、車そのものの信頼性も格段に高まり、サービスマンテナンスも日本車と同じように受けられるようになってきた事が一般に浸透してきたと思います。

車は、いつかは壊れるもので輸入車も日本車もそれほど差があるとは思わない。要は、修理に對して敏速に對應できるかが、重要でその点、海を渡ってくる輸入車は、ちよつと不利かなと思います。夢は、いつかはジャガーに乗ってみたいです。



大橋 康成
(ユニティー)

| | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|--------|--------|-------|-----------|-------|
| 28日(金) | 27日(木) | 26日(水) | 24日(月) | 19日(水) | 18日(火) | 16日(日) | 15日(土) | 15日(土) | 11日(火) | 8日(土) | 3日(月) | 2日(日) | 1日(土) |
| グリーンプラ研究会発足式 | 編集会議 | 生産会議 | 営業会議 | 光田昭男さん誕生日 | 牧野光昌さん誕生日 | 桜井圭子さん誕生日 | 永年会ススキー旅行 | 村田恒夫さん誕生日 | 建国記念の日 | 第二土曜休み | 誕生会 | グリーンプラ研究会 | 改善発表会 |
| 18時00分 | 18時00分 | 18時00分 | 15時10分 | 7時30分 | | | | | | | | 15時00分 | |

2003年 2月の予定



第19回 改善発表会

開催日 2月1日(土)
時間 15:00~

- 改善なくして進歩なし
進歩なくして発展なし
- 不況がチャンス
改善にてチャンスをゲット

サークル名
テーマ
発表者

レインボー
まア-ま
坪井 芳治

ドリーム?
ドリームジャンボ
吉岡 孝記

プロジェクト①
利再来
安井 浩二

ユニティー
倉庫が変われば会社が変わる
大橋 康成

編集後記

先日、入社以来初の帰郷をしました。5年ぶりに見た成人式の着物がとても新鮮に見えたものです。

そこで久しぶりに、田舎の海へ行ってきました。海までは歩いて数分なのでコンビニに行くより近いのですが、驚いたのは砂浜後退の著しさです。子供の頃は海岸まで汗をかいて走ったものですが、今では満潮になると堤防を打ち倒さんかとの勢いで水位が上がります。人間はそれを食い止めようとテトラポッドで対策をとるのですが、やはり自然には勝てないものでしょうか。

さだまさしが、「この大地は我々が先祖から譲り受けたものではない、我々が子孫から借り受けているものなのだ」と新成人へメッセージを伝えていましたが、自然に向き合ってみて、自然に感じました。

名古屋に戻ってきて、まずはお気に入りの公園を探そうと思いました。



齋藤 浩一
(プロジェクト①)

